

島根県が日本で一番寒かった日～あなたは知ってる？寒冷渦～

VOL.9[2024.6]

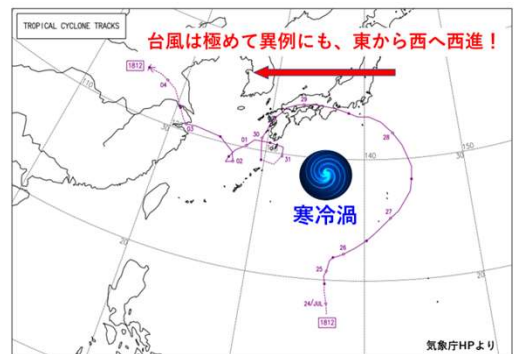
「寒冷渦（かんれいうず）」という言葉を目にしたことはありますか？寒冷渦（別称、寒冷低気圧）は、いわゆる偏西風が南側に大きく蛇行した際に寒気核が切離されることで生じた低気圧のことで、時に気象の非常識を引き起こします。

今年の5月16日、日本海の山陰沖において、この寒冷渦の影響により一般の気象常識ではとても考えられない気象分布が展開されましたので、ご紹介しましょう。

寒冷なシベリアや中国などの大陸で発生した寒冷渦は、時に強力な低気圧となって日本列島周辺に來襲し、大きな影響を与えることがあります。近年は地球温暖化による気象極端化のためか、夏季においても強い寒冷渦が日本列島のはるか南海上にまで南下することもあり、

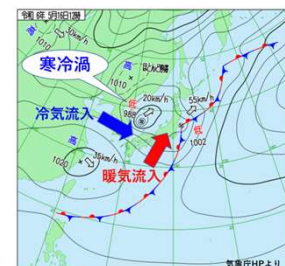
- ・2016年台風10号（ライオンロック）
統計史上初めて東北地方太平洋側に上陸
- ・2018年台風12号（ジョンダリ）

日本列島上を極めて異例にも東から西に西進などの動きは、日本の南海上上空の寒冷渦の影響であったとされています【図1】。



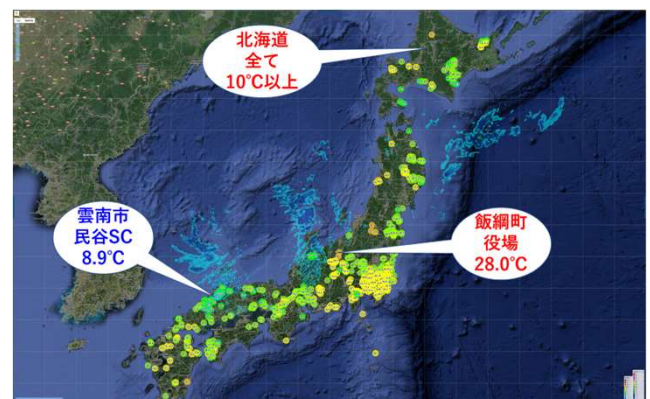
【図1】2018年台風12号経路

本年5月15日、突然大陸からの寒気核切離によって朝鮮半島付近に発生した寒冷渦が、翌16日に日本海上を非常にゆっくりと東進し、島根県の北の山陰沖海上でほぼ停滞してしまうという天気図となりました【図2】。これによって、島根県には低気圧の西側を回る大陸からの冷気が1日中吹き続け、日中はほぼ真冬の低温となりました。一方、低気圧の東側を回る暖かい空気が入った東日本や北日本は、気温が上昇したところが多く、一部ではフェーン現象も加わって真夏のような気温となった地点もありました。



【図2】2024年5月16日12時地上天気図

この5月16日 14時時点のPOTEKA NETの全国気温分布を見てください【図3】。島根県付近は全般的に異常な低温となっており、「雲南市民谷集落センター」では8.9℃と真冬のような気温で、まさに島根県が日本で一番寒くなっていました。また、冬型のような気圧配置となったことで、強い降水を伴うなど非常に危険な気象状況になりました。一方、東～北日本では長野県内陸の「飯綱町役場」で28.0℃、日本で一番寒いはずの北海道においても、雲南市の8.9℃を下回るPOTEKA地点は存在しませんでした。



【図3】2024年5月16日14時POTEKA NET（気温）

寒冷渦は、一般的な温帯低気圧などとは違って前線を伴わず、そのサイズは比較的コンパクトで、局所的な激しい気象変化をもたらすことが多々あります。また、今回の事例のように突然発生することもあり、天気予報泣かせの一面も持ち合わせています。今回の島根県のみ低温は、気象庁であっても週間予報で読むことは難しかったようで、1日前によく予測できたものでした。気象の常識を大きく覆すこともあり、何を起こすのかわからない寒冷渦。天気予報でこの言葉を聞いた時は、注意した方が良さそうです。